

商品概要書

医薬
食品

コンドロイチン硫酸(サメ)

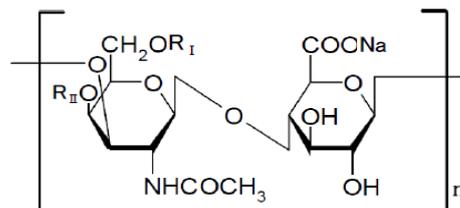
技術
資料

コンドロイチン硫酸 及び コラーゲン含有

■ 期待される機能性 及び 特徴

◎ コンドロイチン

動物の軟骨、皮膚などの結合組織に多く、たんぱく質に結合してプロテオグリカンとして存在。軟骨を形成、接着、移動、分化、増殖などで細胞機能をコントロール。抗関節痛作用、骨芽細胞の増殖促進・石灰化促進、コラーゲン産生促進、BMP及びOsteocalcinの産生促進、成長因子ミッドカインとの選択的結合



$R_1 = \text{H or } \text{SO}_3\text{Na}$ $R_2 = \text{SO}_3\text{Na or H}$

分子式：(C₁₄H₁₉O₁₄NSNa₂)_n

分子量：(503.36) n

◎ コラーゲン

関節にある軟骨に多く含まれ、関節の強化が期待される成分。多量の水分を保持する構造で、美肌・美髪効果、コラーゲンが減少すると、関節痛の原因に。

コンドロイチン硫酸の殆どはプロテオグリカンとして細胞外マトリックスや細胞表面に存在。軟骨のコンドロイチン硫酸の多くは、アグリカンというプロテオグリカンとして存在し、ヒアルロン酸、リンクタンパク質とともに超高分子複合体を形成。この複合体は、軟骨特有なII型コラーゲンとともに、軟骨の細胞外マトリックスを形成し、軟骨の持つクッション作用に重要な役割をしている。脳においては、神経線維の再生を阻害する因子のひとつとして知られるほか、神経細胞の回りを取り巻く構造であるperineuronal netの主要成分として脳機能の可塑性に関与するとされる。

医療用医薬品としてはコンドロイチン硫酸ナトリウムは、注射液で腰痛症、関節痛、肩関節周囲炎（五十肩）などの治療、点眼液で角膜表層の保護に用いられる。一般用医薬品としてはコンドロイチン硫酸ナトリウムは、経口薬で関節痛、神経痛、点眼薬で角膜表層の保護に用いられる。

■ 摂取目安量

◎ 400mg/日

■ 用途提案

- ◎関節系サプリメント,ドリンク,加工食品
- ◎スポーツ系サプリメント,ドリンク,加工食品
- ◎美容系サプリメント,ドリンク,加工食品

■ 製造工程

原産国：中国



■ 表示名称例

◎サメ軟骨エキス(コンドロイチン硫酸、コラーゲン含有)

■ 品質規格

外観	白色又は淡黄色粉末
含量	40%以上
pH	5.5 ~ 7.5
重金属	20ppm以下
砒素	2ppm以下
乾燥減量	1g、105℃、4時間にて 10.0%以下
強熱残分	1g、乾燥にて 23.0 ~ 31.0%
一般生菌数	1000cfu/g以下
カビ・酵母	100cfu/g以下
サルモネラSP	陰性
大腸菌群	陰性

■ その他

原材料	ブタ軟骨
入目	1kg,25kg(要相談)
賞味期限	製造日より3年
保管条件	密閉、直射日光を避け、涼しく乾燥した場所。
包装	ポリエチレン袋+ファイバードラムもしくは段ボール

お問い合わせ

テクノサイエンス株式会社

〒277-0802 千葉県柏市小青田3-18-2

TEL：04-7138-5856 FAX：04-7138-5857

Email：ts@technoscience.co.jp URL：http://www.technoscience.co.jp/